

# 被災心労で症状悪化

東日本大震災から半年を迎える被災地で、新たに要介護認定を申請する高齢者が急増している実態が浮かんだ。津波で自宅を奪われたり、避難生活を強いられたりするなどの環境変化は、高齢者の体をむしばむ。一方、介護の担い手だった家族や受け皿の施設も被災で疲弊し、介護事情悪化に拍車をかけている。

【鈴木梢、曾田拓】

「津波が来ると」。死の境をさまよったの8月19日、震度5弱の余震で、黒い波が目に浮かぶ津波の阿部良策さん（1）は、寝ていたベッド脇のふすまを不自由な足でけり破った。妻のママ（65）は「津波で生



井上利枝さん（左）に向かい、「これからもよろしくお願いします」と手を合わせる穴戸はなへさん—石巻市で8月27日、鈴木撮影

## 高齢者の家族も疲弊

いた。3月末には強度の貧血で入院した。11年前、小脳梗塞で体のバランス感覚を失い、足元がふらつくようになっていた。それでも家庭菜園で草むしりをすることもできたが、震災で体調が悪化し、ほほ歩けなくなった。「この状態なら死んだ方がましだ」と口にするなど、精神的な落ち込みも激しい。メンタルクリ

## 大震災 半年

「認定されれば、介護保険を利用し歩行訓練もできる。ママコさんは自分にも持病があり、夫を病院に連れていけなくなっは少しは安心できる」と話す。

津波で1人暮らしの自宅を流された穴戸はなへさん（96）も再開を喜んだ。「おうちは流されたけれど、何にもねえ。めだかが助けてくれた。ここさ来たから、えがった」。穴戸さんは井上さんに向

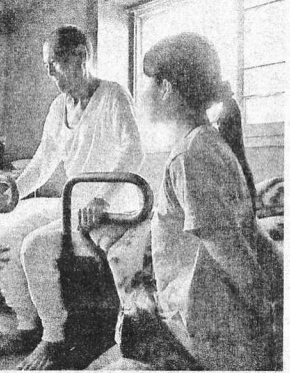
	2011年		2010年	
	件数	割合	件数	割合
岩手県	46	1.2%	54	1.2%
宮城県	119	3.2%	121	2.8%
福島県	19	0.5%	12	0.3%
計	1241	3.4%	1051	2.3%
岩手県	363	29.3%	225	21.4%
宮城県	132	10.6%	132	12.6%
福島県	84	6.7%	46	4.3%
計	5904	47.6%	4406	41.3%
岩手県	13	0.1%	20	0.2%
宮城県	130	1.0%	107	1.0%
福島県	410	3.3%	194	1.8%
計	5904	47.6%	4406	41.3%
岩手県	13	0.1%	20	0.2%
宮城県	130	1.0%	107	1.0%
福島県	410	3.3%	194	1.8%
計	5904	47.6%	4406	41.3%

被災3県の沿岸自治体の要介護認定新規申請件数（4～6月）※南三陸町の昨年データは津波で流失

国は震災直後、被災した施設の定員減少分をカバーするため、無事だった施設に定員超過を認める方針を打ち出した。「当面」の措置だが、半年近くたった今も定員超過が

## 介護施設 再建困難

った施設を何とか再建してほしいが、この状況ではやむを得ない」と、1人部屋にベッドを二つ置いて対応している。長引く定員超過は事業者の負担が増すほか、入居者にとってもサービス低下を招く懸念がある。



看護師の訪問を受け、歩くためのアドバイスを受ける阿部良策さん（右から2人目）—石巻市で8月26日、鈴木撮影

事業者側では、利用者が減少して経営が悪化する例も起きている。在宅で介護可能だった高齢者が家を流されて居場所を失い、特養などに入居した例も少なくないからだ。津波で被害を受けた石巻市の「めだかグループ」が別の場所で事業を再開したのは、住民が地域に

## 「訪問」は利用激減

事業者側では、利用者が減少して経営が悪化する例も起きている。在宅で介護可能だった高齢者が家を流されて居場所を失い、特養などに入居した例も少なくないからだ。津波で被害を受けた石巻市の「めだかグループ」が別の場所で事業を再開したのは、住民が地域に

33人が暮らす。現在も定員のほぼ倍の33人が暮らす。同ホームは「被害に遭

## 介護施設 再建困難

った施設を何とか再建してほしいが、この状況ではやむを得ない」と、1人部屋にベッドを二つ置いて対応している。長引く定員超過は事業者の負担が増すほか、入居者にとってもサービス低下を招く懸念がある。



看護師の訪問を受け、歩くためのアドバイスを受ける阿部良策さん（右から2人目）—石巻市で8月26日、鈴木撮影

事業者側では、利用者が減少して経営が悪化する例も起きている。在宅で介護可能だった高齢者が家を流されて居場所を失い、特養などに入居した例も少なくないからだ。津波で被害を受けた石巻市の「めだかグループ」が別の場所で事業を再開したのは、住民が地域に

## 介護施設 再建困難

った施設を何とか再建してほしいが、この状況ではやむを得ない」と、1人部屋にベッドを二つ置いて対応している。長引く定員超過は事業者の負担が増すほか、入居者にとってもサービス低下を招く懸念がある。



看護師の訪問を受け、歩くためのアドバイスを受ける阿部良策さん（右から2人目）—石巻市で8月26日、鈴木撮影

事業者側では、利用者が減少して経営が悪化する例も起きている。在宅で介護可能だった高齢者が家を流されて居場所を失い、特養などに入居した例も少なくないからだ。津波で被害を受けた石巻市の「めだかグループ」が別の場所で事業を再開したのは、住民が地域に